

令和3年度事業実績報告

(令和3年4月～令和4年3月)

1. 概要

新型コロナウイルス感染症の世界的規模での拡大という未曾有の事態に見舞われ、雇用情勢をはじめ社会経済活動は大きな打撃を受け、シルバー人材センターの事業にも大きな影響が出ました。少子・高齢化の進展により労働環境が複雑化している状況のもと、全国的にシルバー人材センターを取り巻く環境は日々目まぐるしく変化しています。政府が進める高齢者就業施策により、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」が改正され、令和3年4月より、70歳まで就業機会の確保が努力義務とされました。センターの地域における存在意義を高め、積極的な事業運営を行うためにも、会員の拡大が今後の重要な課題であると考えます。当センターは、「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を引き続き推進し、新たな就業機会の確保に努めました。高齢者も、貴重な労働力として捉えられ、国のシルバー人材センターに対する期待はますます大きくなっています。令和3年度実績は、受託件数、受託契約額とも、新型コロナウイルスの影響もあり、前年度を下回る結果となってしまいました。発注者のニーズがますます多様化してきており、対応できる会員の確保や、希望する就業へのマッチングが今後の課題となっています。高齢化社会の受け皿となるシルバー事業を目指し、今後もシルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもとに、社会経済環境の変化に的確に対応していきます。安全就業と地域社会に密着した就業機会の確保・提供を行い多くの会員に配分できるよう、会員、役職員が一丸となって、魅力あふれるシルバー人材センターを構築し、更なる発展に向けて努めてまいります。

令和3年度の主な事業について報告いたします。

(1) 就業開拓提供事業

会員への就業機会の提供を行うため、発注者のニーズに対して的確な対応を行いつつ、新たな受注先の確保に傾注しました。請負・委任・派遣の形態を考慮し広く活躍できる場の拡大に努力しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大による各種イベント等の中止の影響もありましたが、地域の情勢を踏まえつつ安全性等を総合的に勘案し受注の可否を判断したこともあり、契約額は大きく減少となりました。最優先すべきは会員の安全であることは言うまでもありません。すべての安全を第一と考え今後も事業の拡大に注力したいと思います。会員拡大については、第4次中期基本計画の目標はあと少しのところでも達成できませんでした。しかし、加齢、病気、介護といった理由から退会希望者が後を絶たない状況が続いていますが、年度末に職員、役員を中心に口コミで入会促進に注力し、近年にない入会者数となりました。会員増強に向け、引き続き入会促進に取り組みます。就業実人員は106人、就業率も69.74%と前年を下回り、受注件数も、派遣事業を含め701件、就業延人日は請負で5,767人日、派遣で103人日、合計で5,870人日となり、どちらも目標未達となりましたが、独自事

業につきましては、マコモ・わら飾り、ミニ門松の販売額994千円となり、前年度を上回りました。

《令和3年度目標〔第4次中期基本計画（1年目）〕》

- ・ 会員数 155名 (年度末会員数)
- ・ 就業延人日 6,060人日 (派遣、独自事業含む)
- ・ 契約額 35,855千円 (派遣、独自事業含む)

《令和3年度事業実績》

- ・ 会員数 男性会員100名 女性会員52名 合計152名
- ・ 就業延人日 5,870日
(請負 5,767人日 派遣 103人日)
- ・ 契約額 31,167千円
(請負 30,180千円 派遣 987千円)

請負契約内訳

公共事業	171件	11,087千円
民間企業等	103件	4,948千円
民間家庭	580件	13,151千円
独自事業	2件	994千円

派遣契約内訳

民間企業等	3件	987千円
-------	----	-------

- ・ 就業率 69.74%
- ・ 受注件数 704件 (請負701件、派遣3件)
(受託件数 859件 請負856件、派遣3件)

<令和3年度独自事業実績>

- ・ マコモのしめ飾り・ミニ門松

販売実績 998千円

(2) 普及啓発事業

今年もシルバーお仕事相談会を毎月1回中央公民館にて開催し、入会案内や就業相談などを実施しました。1年を通じて安全・適正就業開拓推進員がチラシやパンフレットを戸別に配布し、センターのアピールと入会勧誘を行いました。高齢者（会員含）に向けて連合会が主催する講習会の案内や申込書を事務所に掲示して受講促進に努め、ホームページによるシルバーの紹介も引き続き行いました。また、全国シルバー普及啓発月間（毎年10月）に併せて、広報紙（岩美町シルバーだより）を発刊し町内全戸に配布するとともに、事務所や町内公共施設や各公民館等にポスターを掲示しアピールに努めました。独自事業として製作販売している正月飾りを町内外への周知と販路の拡大を目的として、道の駅「きなんせ岩美」で販売することで、大変好評をいただき、シルバー人材センター事業のさらなるアピールにつなげることができました。

《令和3年度普及啓発活動実績》

- ・シルバーだよりの配布 4,000部×年1回
(令和3年10月)
- ・安全・適正就業開拓推進員によるチラシ配布 1,658部
- ・普及啓発月間〔10月1日～10月31日〕
(月間実績 ポスター掲示)
- ・シルバーお仕事相談会 9回開催
- ・正月飾り販売(道の駅「きなんせ岩美」)

(3) 安全・適正推進事業

就業における安全確保や健康維持・増進は最優先課題であります。また、厚生労働省が示した適正就業ガイドラインを活用し、センターでの正しい働き方について理解、協力を求め安全・適正就業の徹底を図りました。会員の安全を守るため、安全・適正就業開拓推進員2名による就業現場のパトロールも引き続き行いました。安全就業はシルバー事業の根幹であり、ヘルメット着用の義務付け、安全带使用等の指導、個々の意識の高揚を図りました。県連合会の安全パトロール同行(八頭町シルバー人材センター)を9月に実施しました。今年度は傷害事故が1件発生しましたが、賠償責任事故はありませんでした。今後も安全就業を第一に、事故ゼロを目指していきます。また、適正就業調整委員会を開催し、適正就業要綱に基づいて、募集先の決定、就業者の見直しを図り、令和3年度就業募集の公平化を進めました。令和3年度の派遣を含めた就業実人員は106名となりました。

《令和3年度実績》

- ・安全・適正就業パトロール 39現場
- ・安全就業の手引き配布(草刈・剪定等新規就業会員)
- ・入会者の健康チェック表 入会者 25名
- ・事故報告 傷害事故 1件
損害賠償事故 なし
- ・県連合会安全パトロール同行(令和3年9月) 吉村連合会指導員 他

(4) 社会活動の推進

社会奉仕活動として例年実施している年2回のボランティア活動は、計画はしていたものの、新型コロナウイルス感染症が蔓延していた時期とも重なり、予防が難しいとして本年度もやむなく中止いたしました。年末に計画していた門松寄贈は、例年より規模を縮小して感染対策をしっかりとって実施いたしました。

《令和3年度実績》

- ・ボランティア活動
未実施

・門松寄贈

令和3年12月24日（公共施設等5ヶ所）

参加会員 16名＜材料調達、設置、撤去＞

（5）労働者派遣事業

高齢者活用・現役世代雇用サポート事業として事業主から直接指揮命令を受けることとなる就業について派遣事業を実施しました。実態に応じた適正な就業となるよう契約の見直しを行い、103人日、契約額は987千円となりました。

（6）職業紹介事業

令和3年度の有料職業紹介の実績はありませんでした。今後、シルバー相談会等を利用し町内企業へのアピールを強化し、事業推進に努力します。